

令和4年3月18日

報道機関 各位

ご案内

齊藤晴之退任記念展

展示期間：令和4年3月15日（火）～24日（木）9：30～17：00
※ただし、3月22日（火）は、休館日

展示会場：富山大学高岡キャンパス 1階ホワイエ・展示室

■ 本展覧会について

富山大学芸術文化学部において、漆を主な材料とした工芸美術および立体造形分野の研究、指導にあたってきた、齊藤晴之 教授のご退任を記念して開催いたします。

（ 齊藤晴之 教授について）

- ・南砺市井波の出身で、自然に囲まれた木彫文化を基点として、漆を素材とした自由な造形を目指して、新素材も取り入れながら研究制作に取り組む。
- ・原型制作にインダストリアルクレー（用語解説ご参照）を利用し、素地材料として、粘土状に硬化する樹脂材料を使用して新しい表現の可能性に挑戦する。
- ・今後は、自然形からインスピレーションを受け、単純化した抽象形態を組み合わせ、漆素材や表現技術を生かした造形として、工芸の域にとられない現代性を意識した工芸美術の表現を展開することを目指す。
- ・毎年、東京で開催の全国公募展として、春の日本現代工芸美術展に本会員出品。秋の日展に入選を重ねる。2010年第42回日展第4科工芸美術において特選を受賞。

■ 展示内容と特色

現代工芸美術の分野で研究制作した、漆造形作品24点を展示いたします。
初期の平面作品から、普遍的な自然の在り様をテーマとした漆立体の抽象作品を中心に、屋外空間へ展開する作品も展示しております。

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学人社芸術系事務部 芸術系総務・学務課

TEL：0766-25-9111（代表） Email：info@tad.u-toyama.ac.jp

【用語解説】

- ・ インダストリアルクレー：
工業用の原型制作に使われるクレー材料として、60℃ほどに熱を加えることにより、柔らかい粘土状で、常温の30℃以下で硬化し、削りだして造形することができる。
- ・ 樹脂材料：エポキシ樹脂に微細な粒子（マイクロバルーン）を混入して、粘土状になったレジン主剤と、硬化剤を同量練り合わせて、化学反応で硬化させる。石膏の外型に張り込んで、硬化後石膏型を割り出す。



